

○ 北中学校

- ・ 三者アンケートのクロス集計（分析）について
- ・ アンケートで出された意見に対する回答について
- ・ 学校関係者評価の結果について

平成28年度

学校評価のまとめ



美幌町立北中学校

〔報告内容〕

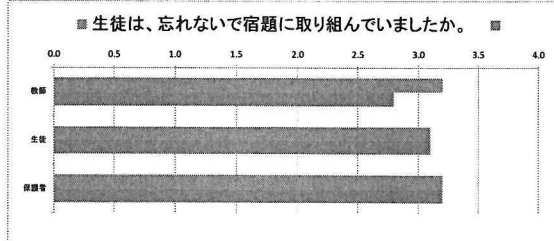
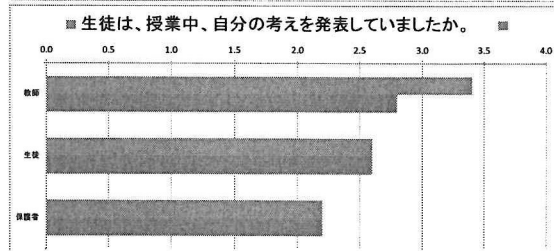
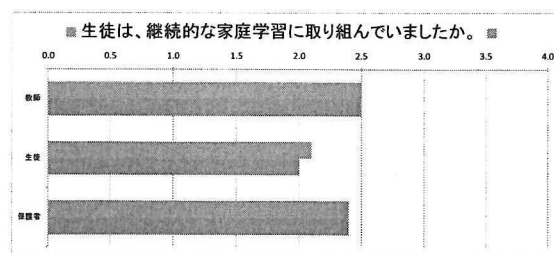
- 1 教師・生徒・保護者アンケートのまとめ〔クロス集計〕
- 2 教育活動アンケートで出された意見に対する回答
- 3 学校関係者評価の結果

平成28年度「学校評価」 教師・生徒・保護者クロス集計

学校評価(教育活動アンケート)の結果をお知らせします。今年度も、教員・生徒・保護者に同じ内容のアンケートを実施しました。その結果及び本校が課題と押さえた内容(オレンジ色の項目)等についてお知らせいたします。また、自由記述でもたくさんの方から貴重な意見をいただきました。すぐに取り組めるもの、少し時間がかかるものなど様々ありましたが、学校としてはできる限り改善していくよう努力していきたいと考えています。

項目	評価項目	年度	教師	生徒	保護者
授業や家庭学習について	生徒は、授業に真剣に取り組んでいましたか。	H28	3.5	3.1	3.1
		H27	3.1	3.1	3.0
	生徒は、忘れ物はありませんでしたか。	H28	3.3	3.2	3.1
		H27	2.6	3.2	3.1
	生徒は、授業中の約束を守っていましたか。	H28	3.5	3.2	
		H27	3.1	3.2	
	教材研究し、わかる、できる、楽しい授業づくりが行われましたか。	H28	3.0	3.0	2.6
		H27	2.8	3.1	2.6
	生徒は、継続的な家庭学習に取り組んでいましたか。	H28	2.5	2.1	2.4
		H27	2.5	2.0	2.4
	生徒に、授業中の私語はありませんでしたか。	H28	3.2	2.7	
		H27	2.8	2.7	
	生徒は、授業中、自分の考えを発表していましたか。	H28	3.4	2.6	2.2
		H27	2.8	2.6	2.2
	生徒は、授業中、友達や先生の話をしっかり聞いていましたか。	H28	3.3	3.3	2.9
		H27	3.0	3.3	2.9
	生徒は、授業中、ノートをしっかり取っていましたか。	H28	3.8	3.7	3.4
		H27	3.4	3.6	3.4
	生徒は、忘れないで宿題に取り組んでいましたか。	H28	3.2	3.1	3.2
		H27	2.8	3.1	3.2

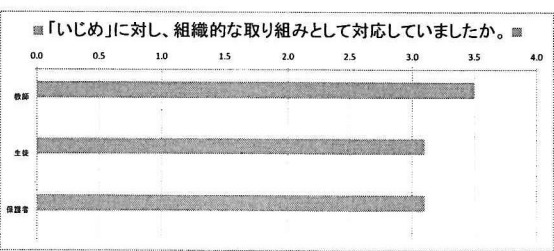
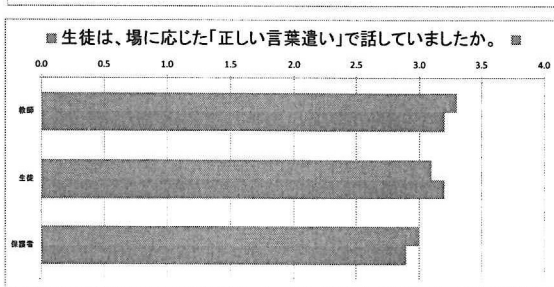
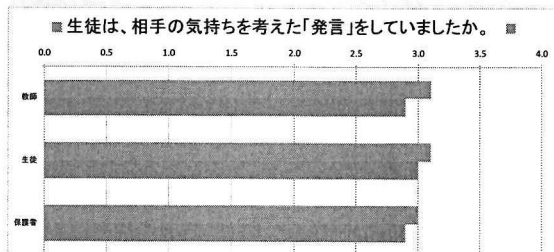
4点満点



1. 最も評価が低かったのは「継続的な家庭学習の取り組み」です。三者ともに低い数値となっています。これは昨年度も同様の結果であり、次年度に向けた最大の「課題」であると考えます。家庭学習の手引きの活用を図り、家庭学習計画の指導などを強化していきます。改善策については自由記述の回答の中でも触れていますのでそちらもご覧ください。その他に、学校として次年度に向けた課題と押さえたものは、「自分の考えを発表すること」です。

項目	評価項目	年度	教師	生徒	保護者
学校生活や友人関係について	生徒は、相手の気持ちを考えた「行動」をとっていましたか。	H28	3.3	3.1	3.2
		H27	2.9	3.2	3.0
	生徒は、相手の気持ちを考えた「発言」をしていましたか。	H28	3.1	3.1	3.0
		H27	2.9	3.0	2.9
	生徒は、「思いやりの心」が育っていますか。	H28	3.6	3.2	3.2
		H27	3.1	3.2	3.2
	生徒は、場に応じた「正しい言葉遣い」で話していましたか。	H28	3.3	3.1	3.0
		H27	3.2	3.2	2.9
	生徒は、気持ちのよい「挨拶」をしていましたか。	H28	3.4	3.4	3.1
		H27	3.4	3.5	3.1
	生徒は、きちんと返事をしていましたか。	H28	3.7	3.5	3.1
		H27	3.1	3.4	3.1
	生徒は、先輩や先生に対する礼儀ができましたか。	H28	3.6	3.5	3.2
		H27	3.2	3.5	3.1
	生徒は、友達と「協力」して仕事に取り組んでいましたか。	H28	3.6	3.4	3.3
		H27	3.2	3.4	3.1
	生徒は、学校の規則を守っていましたか。	H28	3.6	3.4	3.4
		H27	3.3	3.4	3.4
	生徒は、給食や清掃などの当番活動に真面目に取り組んでいましたか。	H28	3.8	3.4	
		H27	3.4	3.4	
	「いじめ」に対し、組織的な取り組みとして対応していましたか。	H28	3.5	3.1	3.1
		H27			

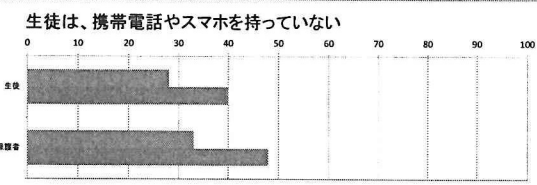
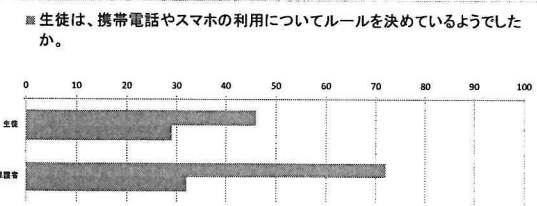
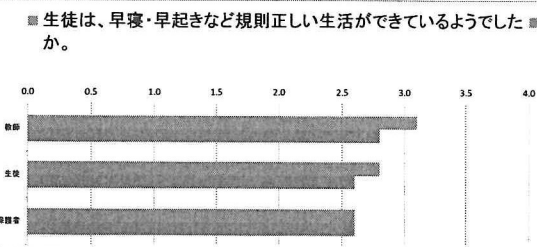
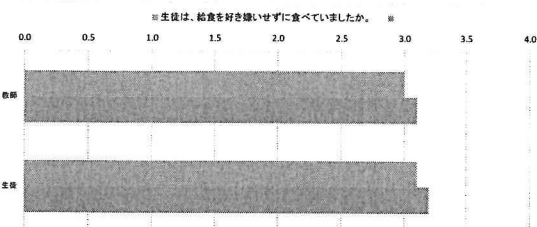
4点満点



1. 昨年度に引き続き評価が低かったのは「相手の気持ちを考えた発言をしている」と「正しい言葉遣いではなしている」の項目でした。学校生活だけでなく、社会生活をしていく上でとても大切なことと認識しています。次年度も「継続した課題」として取り組んで行きたいと思っています。ご家庭でもこのことを意識した対応をお願いいたします。
2. その他、「いじめに対する組織的な取り組み」につきましても、学校としては次年度に向けた課題と押さえ、改善のための指導を強化していきたいと思っています。

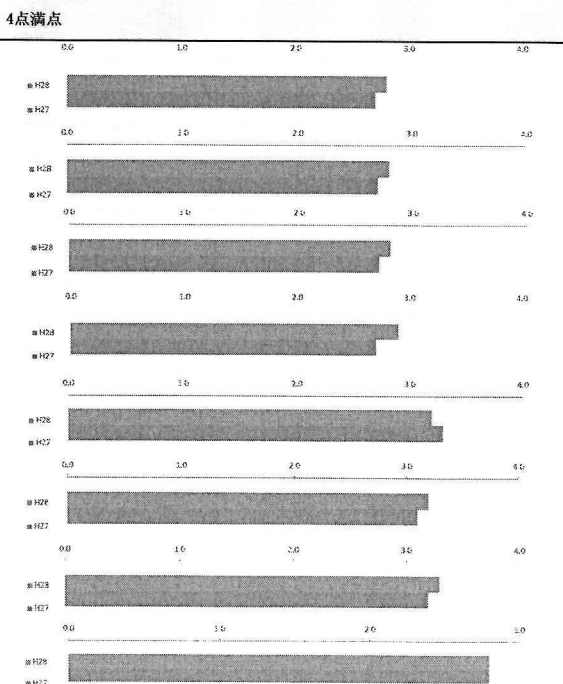
項目	評価項目	年度	教師	生徒	保護者
健康や身体について	生徒は、給食を好き嫌いせずに食べていましたか。	H28	3.0	3.1	
		H27	3.1	3.2	
	生徒は、健康を考えた食生活を心がけていましたか。	H28	3.0	3.0	2.6
		H27	2.8	3.1	2.6
	生徒は、体を動かして体力向上に努めていましたか。	H28	3.6	3.2	3.1
		H27	3.3	3.2	3.1
	生徒は、早寝・早起きなど規則正しい生活ができているようでしたか。	H28	3.1	2.8	2.6
		H27	2.8	2.6	2.6
	生徒は、気温に応じた服装に心がけていましたか。	H28	3.4	3.5	
		H27	2.8	3.5	
	生徒は、風邪やインフルエンザの予防に努めていましたか。	H28	2.5	3.2	2.7
		H27	3.0	3.1	2.7
	生徒は、安全な学校生活に心がけていましたか。	H28	3.1	3.5	3.0
		H27	3.0	3.5	3.0
	(生徒は、)朝ごはんは食べていますか。	H28		3.5	3.5
		H27		3.6	3.5
	登下校(時生徒)は、徒歩や自転車で通学できましたか。	H28		3.4	3.5
		H27		3.6	3.5
	生徒は、携帯電話やスマホの利用についてルールを決めているようでしたか。	決めている	H28	46	72
		持っていない	H27	29	32
		決めている	H28	28	33
		持っていない	H27	40	48

4点満点



1. 「早寝早起きなどの規則正しい生活」は改善傾向にあるものの、まだ学校として課題と押さえています。また、「携帯やスマートホンの利用についてルールを決めている」という項目は、昨年度より大きく増えました。また、携帯電話やスマートホンの所持率も増えています。利用については、慎重を期さなければなりません。今後もPTAとも連携を図りながら全校での取組を進めていきたいと考えています。が、学校だけの指導には限界があります。各ご家庭での指導・ご協力を切にお願いするものであります。

項目	評価項目	年度	教師	生徒	保護者
開かれた学校について	学校は、家庭との連携がとれていると思いますか。	H28			2.8
		H27			2.7
	学校の取組みは、家庭には伝わっていますか。	H28			2.8
		H27			2.7
	学校での生徒の活動は、家庭には伝わっていますか。	H28			2.8
		H27			2.7
	学校は、生徒の諸問題に適切に対処していると思いますか。	H28			2.9
		H27			2.7
	お子さんは、楽しく学校に通っていると思いますか。	H28			3.2
		H27			3.3
	学校便りには、目を通していただいていますか。	H28			3.2
		H27			3.1
	学級通信には、目を通していただいていますか。	H28			3.3
		H27			3.2
	お子さんに関する相談を、学校にできましたか。	H28			2.8
		H27			2.8



1. 昨年度の結果と比較して、「楽しく学校に通っていると思う」の項目の評定が少し下がっています。また、数値的にも他から見ると「家庭との連携」など「学校の取組や生徒の活動の様子の情報伝達」が少し低くなっています。学校としては、学校便りや学級通信を通し生徒や教育活動状況を提供するとともに、懇談会や個別の面談、PTA交流会等を通して情報交換や連携を深めていきたいと考えています。何かあったときには家庭と連絡を取り、報告をさせていただきます。各ご家庭でも、不明な点、心配事、相談事項がありましたら遠慮なく申し出いただければ幸いです。

保護者アンケートで出された意見に対する回答

文責：校長 木野村 寧

教育活動アンケートにおきまして、たくさんのご意見をいただきました。寄せられた意見を真摯に受け止め、次年度に向けて可能なものから迅速に改善していきたいと思いをします。

以下、今回のアンケートでいただいた意見に対し回答させていただきました。不明な点がありましたら、学校まで連絡いただければと思います。

1. 学習に関する意見

Q 1 中間・期末の答案を返す時にその教科の平均点を言っていたきたい。

答 この指摘のような事実があったから、このような意見が出されたのだと思います。難しいことではないのですぐに改善できる事案ですが、正式にはテスト後の家庭通信(得点通知表)で確定した平均点をお知らせしていますので、そちらも参考にいただければと思います。

Q 2 数学のテストで習っていないところを出さないでほしい。(基礎コース)

答 学習指導要領に示されている内容については、基礎・発展どちらのコースに所属しても指導しています。ただ、基礎コースの場合は、「定着問題を解く量(問題数)」がどうしても少なくなりますので、テストに出された発展問題を見た時に「習っていない」と感じたのではないかと思います。家庭学習でより多くの問題を解くなどして補充していただけると助かります。

Q 3 サポート学習があればいいなと思います。

答 部活動、生徒会活動、行事の準備など、授業が終わってからやることはたくさんあります。そのような中、十分満足いく形で実施することはなかなかできないのですが、今年度は昼休みや放課後を使った補習、テスト前の放課後学習会などが行われていました。また、夏・冬休みには各家庭への文書で希望者を募り「サポート学習(各1週間ずつ)」を実施しました。今後も、学校としてより計画的に実施していきたいと考えていますので、是非お子さんを参加させていただければと思います。参考までに、今年の北中の冬休みにおけるサポート学習の実態をお知らせしておきます。

① 各教科(教科担任) 12/26~28 ・ 1/5~6 ・ 1/10~13

3年数学=2日(16名) 3年理科=3日(26名) 3年社会=3日(26名)
3年英語=5日(15名) 2年英語=1日(9名)

② 全学年サポート学習(農大生+教師) 1/10~1/3

数学=4日(87名) 理科=4日(27名) 英語=3日(28名)、
国語=2日(7名) 社会=2日(22名)

③ 部活動(顧問) 12/24 ~ 1/13

美術部=3日(40名) 野球部=10日(180名) サッカー=5日(75名)
女バス=1日(10名) 吹奏楽=3日(20名) PC部=4日(24名)
ソフト=3日(31名)

Q 4 様々な体験をしてほしいので、学校の方で何かしてほしいです。

【答】 「何か」というところが具体的に書かれていないのですが、想像すると外部講師を招いての授業や外に出て行つての体験活動などを指しているのではないかと思います。本年度も出前講座、職業体験、薬物乱用防止教室、救急救命講座、芸術鑑賞、ボランティアなどに取り組んできました。今後も可能な限り学習の幅を広げていけるよう努力していきたいと思います。

Q 5 もっと学力をつけるために本人、学校共に本気で取り組んでほしい。

【答】 貴重なご意見、ありがとうございます。
生徒の学力向上のため、今年度から数学科で習熟度別授業を始めました。昼や放課後の学習会も先生達は精力的に取り組んでくれています。夏・冬休み中のサポート学習も今年度からは本格的に実施しています。Q 3でも紹介したように、この冬休みも9日間で10の講座を行い、のべ262人の生徒が参加しました。活用の仕方に課題はあるものの「家庭学習の手引き」も発行したところです。10 / 28と11 / 15には、授業を公開しての研究会を実施するなど、各先生が授業力の向上のための研修にも取り組んできました。今後も、生徒のためになる取組を実施していきたいと考えますが、家庭での学習習慣の定着も学力向上には重要な要素となります。是非、各ご家庭でも家庭学習の時間が確保されるよう粘り強く働きかけていただけると助かります。

Q 6 宿題をもっと出してほしい。学力が低すぎる。

【答】 Q 7のような意見もありますので、学校として宿題のあり方について検討したいと思います。ただ、宿題だけで学力はつきません。授業への集中力、家庭学習時間の確保、学習の仕方の習得なども必要であることを理解していただきたいと思います。

Q 7 ①夏季・冬季の宿題が教科担任まかせになっていて、その総量を全体で検証しているのでしょうか？
②例えば、今年度初めのGWには大量の数学のプリントが配布され、子供がそれに追われました。家族で旅行に出ましたが「宿題が終わらないから」といって、宿泊先でもそれに取り組まざるを得なく、残念な思いをしました。
③ついでに言えば「回答を配ってあるので丸付けをして提出する」というような宿題を出されているようなことがあれば、教科担任は「提出したか/否か」だけを見ているだけで、内容には目を通していないのだと思われます。責任を持った宿題の出し方をして欲しいと思います。

【答】 ①の夏季・冬季の宿題については、教務部が各教科担任が出す宿題・課題の内容を集約しています。計画的に取り組めば、決して多い量を課してはいないと認識しています。
②については、GWのことで①とは別問題ですが、「量が多すぎるという意見がある」ことを全教職員で確認しました。こちらについては、各教科担任の良識内でやってもらおうと思いますが、教師間でより連携し、生徒にも実情を聞きながら進めていきます。
③については、「内容に目を通していないのではないか」という想像の範囲を超えない指摘です。教科名がわからないので何とも言えませんが、「問題を解いて自己採点をし、自分で間違いを赤ペンで直す」というのは、生徒に身に付けさせたい重要な学習方法です。学習内容の定着だけでなく、学習方法の習得まで指導しなければならないのが中学

教師ですので、そこも理解していただければと思います。決して「内容に目を通してない」ということはありません。

Q 8 カバンの総重量がありすぎると思います。教科の副教材の有効活用がなされているでしょうか。無駄な副教材は本当にないでしょうか。

【答】 「副教材は有効に活用されているのか」という貴重なご意見をいただきました。学校として無駄な副教材がないかを改めて検証していきたいと思います。
カバンの重さについてですが、家庭学習に必要な物は学校に置かないというのが北中の基本的な考え方です。これは、「生徒には家庭学習が必要である」という前提に立った上でのルールですので、この点につきましてご理解をお願いします。

Q 9 学力についてですが、家で勉強をするけれどやり方が違うのかわからないのか、成果が出せないで悩んでいます。先生に相談した事もあるけれどその時だけの対応で、3年生になる前になんとかならないかと思っています。

【答】 「勉強のしかた」はとても大切なことなのですが、定着となるとなかなか難しい問題です。各教科によっても効率的な学習方法には違いがあるので、本人や保護者が直接教科担任に聞くのが一番かと思います。学校としても、次年度は参観日などを利用して、保護者が教科担任に相談する場の設定について検討してみたいと思います。その際には是非ご活用ください。

2. 部活動に関する意見

Q 10 テスト前の大会等は配慮してほしい面もある。

【答】 テストの近くに大会が組まれていることがありますが、大会日程については学校としてはどうすることもできないのが実情ですので、ご理解をいただきたいと思います。テスト近くに大会がある場合、テスト前に練習をするのは差し控えてほしい、という意味でしたら、今後の検討課題とさせていただきます。

Q 11 部活動の終了時刻を明確にし、それを守って欲しい。

【答】 貴重なご意見、ありがとうございます。
5月から9月中までは18:30、9月中から4月までは18:00が終了時刻となっておりますが、部活動終了後もダラダラと残っているため、帰宅時刻が遅くなるという実態がありました。今回の指摘を受け、各部が終了時刻を守ると共に、終了後は素早く下校させることを全体で確認しました。そのような指導を全校体制で続けていきたいと思っています。

Q 12 部活動の時間、日程を守ってほしい。

【答】 平日の部活動の練習時間についてはQ 11の通りです。土日の練習時間については、部によって異なります。練習試合などが組まれる場合は、長くなる日もあると思います。日程というのはその日の練習内容のことでしょうか。日程は部によって異なり、諸事情

によりその日になって急に変更になることもあります。そのような場合は顧問から連絡があると思います。急な変更はできるだけ避けるようにしたいと思いますが、変更せざるを得ない事情もありますのでご理解いただければ幸いです。

Q 13 冬場は暗くなるのが早いので、部活時間をもう少し短くしていただけると安心できる。

答 もっともな意見です。特に冬場は16:00を過ぎると真っ暗になってしまいます。しかし、学校としては「冬場は部活動なし」ということにもなりませんので、天候なども考慮しながら、少しでも早く帰宅させるような手立てや臨機応変な対応をしていきたいと思っています。

Q 14 部活動の時間帯を少し考えてほしい。平日夜までであるなら、土日はどちらか休みとか。遊ぶ時間はないのはわかるのですが、勉強する時間も少なく感じます。

答 5月から9月中までの練習時間は、18:30までとなっています。「夜まで」というのは、この18:30が遅すぎるということでしょうか。休みに関して言えば、例えば屋外で活動する部は、雪が降る前の外で練習できる期間に中身の濃い練習をしたいと考えます。冬場に十分な練習や試合ができない分、土日には集中して行う場合が多いことも特徴としてあげられます。その場合は月曜日を休みにしており、週に1回は必ず休養日を取るようにしていますので、ご理解いただきたいと思います。

Q 15 部活動に熱心なのは良い事ですが、もう少し学習面に時間が必要かと思っています。部活の日数が多いと思います。その分家庭での学習時間がほとんどありません。

答 土日が休みの部もあればそうっていない部（特に運動部）もあります。しかし、全ての部が週に1日は必ず休養日を設けるようにしています。ただ、外での活動が中心となる運動部は、活動時期が限られるため夏場に集中して取り組むことが多くなります。もちろん、部活動に加熱しすぎないように、学校としても注意を払っていききたいと思いますが、各顧問にもそのような話をしていますが、各部の活動にはそれぞれ特徴があるということもご理解いただければと思います。

3. 先生に関する意見

Q 16 クラスの授業中のうるささで集中できないと言っていた事がありました。来年は3年生。自分の進路に向けしっかり考える年なのでもう少し授業に集中できる環境であるとよいと思います。

答 生徒が授業に集中できる環境を作ることも教師の重要な役目です。授業に臨む基本的な姿勢や問題が起こった時の指導は学級担任が行い、授業中うるさい状況になった時は教科担任による毅然とした指導が必要と考えます。今一度、全教員で確認し温度差のない指導をしていきます。

Q 17 感情的になって教師として相応しない言動をとる教師がいるとよく耳にします。長い間、同じ学校に在籍するのはどうだろうと疑問に思います。

【答】 教師も人間ですから時として感情的になることはあります。そのような時も、指導者としての自覚を忘れず、相応しくない行動は厳に慎まなければならないと承知していますので、全教職員で今一度そのことを再確認したいと思います。学校として、今年度もアンガーマネージメントの研修なども行ってきましたが、今後も十分に気をつけていきたいと思います。なお、一般教職員の勤務年数については同一校6年が目安となっていますが、本校の教員の勤務年数は全員が6年以下であり、7年以上勤務している者は一人もいないということを付け加えさせていただきます。

Q 18 言葉の一言一言や同じ言葉でも、トーンの違い（言い方）で気にしてしまう子がいることを理解（小さな声でも傷ついてしまう）してほしい。

【答】 もっともな意見です。生徒の性格は十人十色であり、個々への対応は異なります。常に生徒理解を深めることを忘れず、またマンネリ化からくる鈍い感性に支配されてしまわないようにしていかなければならないと考えます。教師の不適切な対応で、生徒が傷つくような事例がありましたら、校長まで直接お電話いただければと思います。

Q 19 先生方には何かと相談にのっていただいたおかげで、家庭でもいろいろと助けられています。先生も大変だと思いますが、生徒の言動をもう少し厳しく注意する必要があると思います。

【答】 「不適切な言動をとる生徒に対してもう少し厳しく注意する必要がある」というご意見だと思います。もっともな意見ですが、このような指摘をいただくということは、教師の適切な指導が行われていない事実があったことの裏返しと判断します。真理や真実を教えるのが教師の役割ですから、毅然とした態度で指導するよう再確認します。

Q 20 いじめのコトでは、なかなか先生に相談はできないみたいです。学校から子どもが帰って来てから話をします。友達も親には話せても先生に言うとかくりみたいに見られたりするのがイヤなんですよね。先生と生徒が何でも話せる関係になってくれるといいですね。

【答】 お子さんの力になれず、申し訳ありませんでした。いじめは大変重要な問題ですので、本校でも未然防止の取組（道徳の授業や心の教育）、早期発見の取組（生徒アンケート、教師による点検表、教育相談）を行い、認知した時には組織的に対応するようにしています。また、学校独自の取組として各教員によるいじめ認知調査も年に3回実施しています。しかし、これらに加え、教師と生徒の信頼関係（何でも相談できる）の構築が不可欠だと思います。我々もいじめに対する適切な対応等について研修をしていきますので、保護者の皆様には手遅れにならないうちに、勇気を持って担任や管理職に情報提供していただきますようお願いいたします。

4. 学校からの通信等に関する意見

Q 21 自分から手紙を出さない。

【答】 手紙とは、学校からの保護者向け文書や様々な通信などを指しているのでしょうか。これらについては学校としての指導にも限界がありますので、各ご家庭で「何かもらってこなかった？」と一言声かけをお願いします。

Q 22 学校だよりは子供たちからもらっていないので、見られていません。

【答】 学校だよりは、毎月25日～30日の間に発行しています。その月の教育活動や生徒の活躍などの記事を書いています。学校の様子を知っていただくためにも大切なツールと考えていますので、Q 21同様に毎月25日を過ぎたら「学校だよりはもらってなかった？」と子どもに一声かけていただきたいと思います。

Q 23 学校だより・学級通信などについて、家では必ず子どもが出して目を通しています。でもプリントを親に出さないとよく耳にします。子どもの様子などを知るには見た方が良くと思うので、もっと見てもらえるといいと思っています。

【答】 Q 21やQ 22で回答した通りです。「学校の様子がわからない」という声を時々聞きます。是非、学校だよりや学級通信に目を通していただきたいと思います。学級通信は教室にも掲示してありますし、学校だよりは校長室前の廊下に掲示してありますので、子どもが見せていない場合には、参観日の折にでも確認していただければと思います。

Q 24 先生によって学級だよりが極端に少ないですね。今のクラスの様子やできごとなど、子供からはあまり情報が少ないので、せめて1週間に一度でも学級通信を出していただくと、学校の様子もわかり保護者も学校とつながっていると感じるのではないのでしょうか。

【答】 多くの担任は、定期的に学級通信を発行し、生徒の様子を家庭に伝えていると思うのですが、学級通信の発行頻度については、学校として決めているわけではありません。基本的には学級担任に任せています。しかし、このような意見があったことを真摯に受け止め、全体で検討したいと思います。また、他の学級よりも通信の発行が少ないと感じた時には、遠慮せずに「先生、もう少し学級通信を発行してもらえませんか」と、直接担任にお話していただいて構いません。「1週間に一度」という具体的な提案もありましたので、期待に応えられるように改善していきたいと思っています。

Q 25 学年通信・学級通信がないので様子が全くわからない。時間割も家庭で見ることができないのでわからない。通信が出せないなら時間割表を印刷するなど、次年度改善して欲しい。子供の自立のため、メモをさせるなら学級の様子をわかるようにして欲しい。

【答】 Q 24で述べた学級通信と同様に、学年通信の発行についても学校としての決まりがあるわけではなく、その学年団に任せています。今後は、学年通信についてもできるだけ定期的に発行するように努力していきたいと思っています。
時間割については、小学校では学級通信や学年通信でお知らせし、授業に使う物などについても記載されていることが多いと思います。しかし、中学校では、次週の時間割については、自分でメモしていくのが一般的です。また各教科で使う物については、教科担当係が教科担任に聞いたことを発表し、それをメモするという方法をとっている学級がほとんどです。発達段階に応じて自己責任の度合いを多くし、自立を促すようにしています。このように、時間割をメモするという方法が中学校では一般的なため、結果的に学級通信や学年通信に時間割の記載がなく、保護者に伝わりにくいという連鎖が起きていますが、説明したような中学校での取組についてご理解をお願いします。

5. その他の意見

Q 26 クラスによって教科担任が違う場合があるので、来春から学年で統一していただきたいです。

答 北中は5教科の先生が2名しかいません。例えば英語を例にすると、学年を同じ先生が受け持つことにすると、1週間の授業時数は、一人が2学年分の6クラス（24時間）、もう一人が1学年分の3クラス（12時間）ということになり、持ち時数に著しい差が生じます。担任を持つと、さらに学活1時間、道徳1時間、総合1～2時間がプラスされます。このような理由から、どうしてもどこか1つの学年だけは、2人で3クラスを分け合って受け持つことになります。

また、授業は1週間で29時間行われるのですが、週24時間持った先生は1日平均5時間の授業を行う計算になり、もし1日休暇を取るとその分を回復するために何週間もかかることになるため、結果的に次の休みが取れなくなってしまうという現実もあります。そのような事情から、同じ学年で違う先生が教科担任を持たざるを得ないということをご理解いただければと思います。

Q 27 学校祭が土日に催されるとありがたいです。

答 貴重なご意見、ありがとうございます。

学校祭を土日開催にすると、先生達の勤務時間の関係や生徒の疲労度を考慮して、直前の木曜あたりに1度休みを入れなければなりません。そうすると、盛り上がりや練習してきたことの連続性が途切れることになるため、北中では平日（木・金）に開催し土日の2日間で休養を取る形にしています。平日開催ですと、お仕事の関係で見たくても見られない保護者がいることは承知していますが、このような事情があることもご理解いただければ幸いです。

Q 28 中学校と小学校の参観日は、同じ日にしないでほしいです（別々にしてほしい）。

答 貴重なご意見、ありがとうございます。次年度は重ならないように調整いたします。また、町内他校で行われている4月の日曜参観について、北中でも実施の方向で検討させていただきます。

Q 29 このアンケートは「とるだけ」のものになっていないでしょうか？ 反映されることは一つでもあるのでしょうか。

答 ご質問ありがとうございます。

アンケートの設問で、評価（数値）の低いものについては課題と押さえ、校内の担当部署で改善策を考え、それを全員で共有し、次年度から改善の取組を実行していきます。また、いただいた全ての意見についても全教職員で共有し、改善できるものは次年度の教育活動の中で即改善するようにしています。例年、2月または3月の学校だよりと一緒に、学校評価の「結果」「改善策」「意見に対する回答」をお知らせしていますので、そちらもご覧ください。なお、学校だよりを保護者に見せていない生徒もいるようですから、毎月25日を過ぎたら「学校だよりもらってきてない？」と子どもに尋ねてみてください。

Q 30 3の2の質問（お子さんは、家で健康を考えた食生活に心がけていると思いますか）の意味がわかりません。

答 わかりにくい文章で申し訳ありません。近年は子どもの健康や食についてクローズアップされています。そのような中で、家庭の食事において好き嫌いはないか、栄養バランスを考えた食事をとっているか、成人病予防の観点から摂取カロリーなどに気を配っているかなど、健康を考えた食生活を心がけているかどうかを聞きたかったものです。

Q 31 娘もあわせて5年北中にお世話になりました。先生方も、子どもたちのことを考え対応してくれているので安心して学校に送り出しています。子どもたちも、のびのび部活動もしているので、学校生活を満喫できているんだと思います。

答 大変ありがたい、先生達もやる気が出る言葉をありがとうございます。

Q 32 質問に行ったら丁寧に教えてくださり、いつも励ましの言葉をかけて下さったり、先生方とてもよくしていただいて正直、本当にありがたいです。

答 ありがとうございます。これからもそう言っていただけるよう、気を引き締めて教育活動に取り組んでいきます。

Q 33 今まで、ご指導ありがとうございました。三年の月日は早いものですね。勉強は本当は楽しくないですし、理解ができなくなると嫌いになる離れたい気持ちになりますよね。まず、将来の目標や夢を設定させた意識作りや体験（職場体験OKです）の機会を増やし、「なぜ、勉強が必要なのか？」思い起こす教育が必要であると思います。そして、何より学校が楽しい、友達と時を一緒に過ごしたい所だという施設作りが大切だと思います。

答 将来の目標設定、なぜ勉強は必要か、学校は楽しい場所であるべきなど、大変示唆に富むご指摘をいただきました。これからも生徒や保護者に「北中で良かった」と言ってもらえる学校づくりを進めていきたいと思っています。ありがとうございました。

Q 34 3年間ありがとうございました。娘も心身共に大きく成長し、良いことも悪いこともたくさん経験できたと思います。学級通信も、クラスの今の状況などよく伝わる内容ですごく良かったです。ただ、クラスの取り組みはよく伝わるのですが、学校の取り組みはなかなか見えないような感じがします。また、受験に対する心構え等、学級通信・学年通信を読んで、自分が中3の時、先生に同じようなことを言われたなどか思うことが多く、その内容に共感できると共に、娘に勉強や受験に対する会話などに活かしていただきました。すごく良かったです。

答 学級通信・学年通信を活用していただき、ありがとうございます。学校の取組が見えないというご指摘がありました。不十分ではありますが、学校だよりに1ヶ月毎の教育活動や生徒の活躍を載せていますので、是非そちらもご覧ください。

学校関係者評価について

「学校評価」について

各学校は、自らの教育活動その他の学校運営について、目指すべき目標を設定し、その達成状況や達成に向けた取組の適切さ等について評価することにより、学校として組織的・継続的な改善を図ることが求められています。また各学校は、「自己評価」及び保護者など「学校関係者等による評価」の実施とその結果の公表・説明を行い、適切に説明責任を果たし、保護者・地域住民等から理解と参画を得て、学校・家庭・地域の連携協力による学校づくりを進めることになっております。教師・生徒・保護者による教育活動アンケートは「自己評価」に当たり、その評価結果は「学校関係者による評価」を経て、公表することになっております。

「学校関係者による評価」について

校長が行う学校経営に関し、保護者や地域の方々から幅広く意見を聞き、その意向を学校運営に反映させるための協力を得るために、地域や元PTA役員の方々に学校評議員をお願いし、「学校評議委員会」を年3回開催しています。

平成29年2月16日(木)、第3回学校評議委員会を開催し、自己評価の結果を報告し様々な意見(学校関係者評価)をいただきました。以下に紹介します。

1 全国体力・運動能力・運動習慣等調査について

「体力に関する調査結果」を見ると、北中の生徒は男女ともに「握力」「長座体前屈」「ハンドボール投げ」が全国平均値を上回っている。男子は瞬発力を必要とする種目が昨年度より下回ったが、女子は軒並みほとんどの種目が昨年度を上回った。しかし、「生活習慣や学習環境等に関する調査」結果では、『体力に自信がある』『運動をする時間を持ちたい』と答えている生徒が全国平均値より高い。運動や体育がすき、ということがまず大切である。

2 学校評価「三者アンケート」の結果について

(1) スマートホンについて

スマートフォンのきまりについて、親と子どもでは捉え方に温度差がある。

(2) 挨拶について

あいさつができなくなったとは思わない。できない子もいるかもしれないが、しようとする気持ちはあると思う。

(3) 教育相談について

子どもに悩みをがある時の相談窓口はあるのか。子どもたちは、悩みをどのように相談するのか。(SC, SSW, QUテスト、教育相談、アンケートなどを活用)。

(4) 通学の様子について

登下校時の保護者による送り迎えが多数ある。体力向上策としての徒歩通学の奨励はよい。PTAに協力願うこともよい。ただ、登校時刻に通学路が除雪されていないということがないようにしたい

3 高校入試について

(1) 北斗高校の受験者数が少ないようだが、学力の問題か。

(2) 美幌高校の希望者が少ないようだが、進学先を決めるのは生徒だから学校としてはどうすることもできない。

(3) 私立高校のA、Bの違いは何か。

(4) 高校も魅力ある学校作りが必要である。

4 その他

(1) スポーツで随分頑張っている。素晴らしい。

(2) ボランティアなどでも頑張っていると聞いている。

登校時間帯に道路の排雪作業をやっていた。登校時間をさけるように要望することはできないのか。